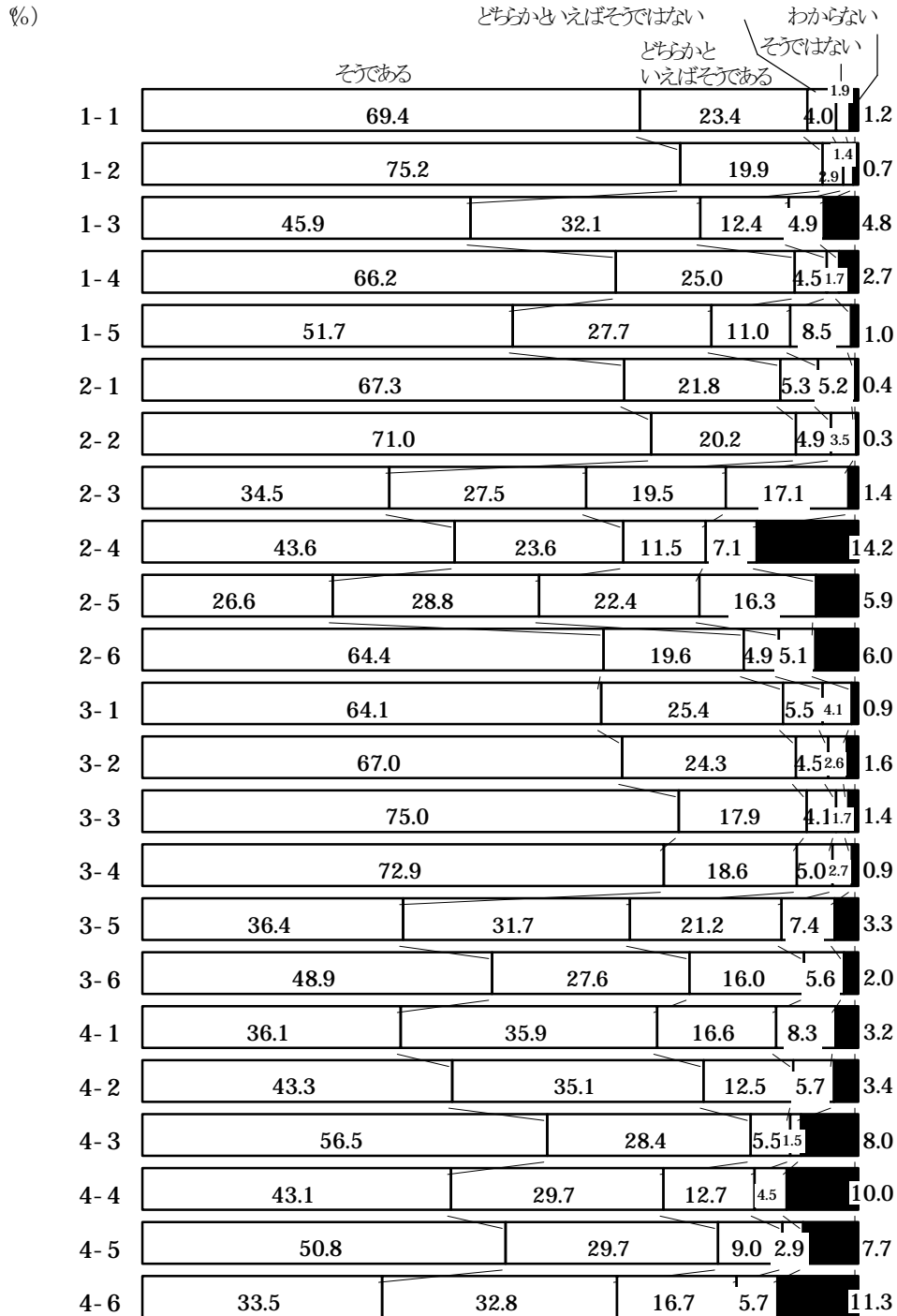


ひばりヶ丘駅北口地区については、交通事故、災害対応といった安全面の不安、南北の往来の不便性、みどや 余裕空間、まちなみの 雰囲気 欠如、といった 点で、どこ 評価が低い。

(問 15)

図 3.32 ひばりヶ丘駅北口地区について感じていること



安全性

- 1-1 交通事故の危険性が高い。
- 1-2 安心して歩ける空間がない。
- 1-3 防犯や治安の面が心配である。
- 1-4 火災、地震などの災害時が不安である。
- 1-5 南口と行き来するのは危険である。

便利さ

- 2-1 駅を利用して南口に行くのは不便である。
- 2-2 踏切を利用して南口に行くのは不便である。
- 2-3 日常の買い物をするのは不便である。
- 2-4 行政サービスを受けるのが不便である。
- 2-5 飲食店や娯楽・レジャー施設を利用するのは不便である。
- 2-6 駐車場や駐輪場を利用するのは不便である。

快適さ

- 3-1 まちの中を歩きづらい。
- 3-2 立ち話や、ちょっと休むためのゆとりのスペースがない。
- 3-3 まちなみの美しさや雰囲気がない。
- 3-4 みどりが少ない。
- 3-5 空き缶やごみ、吸殻などが散乱している。
- 3-6 放置自転車や路上駐車が目立つ。

にぎわい

- 4-1 商店街ににぎやかさが少ない。
- 4-2 商店街に魅力がない。
- 4-3 こどもや老人が集まりやすい施設が少ない。
- 4-4 若者が集まりやすい施設が少ない。
- 4-5 主婦や家族連れが集まりやすい施設が少ない。
- 4-6 お祭りやイベントが少ない。

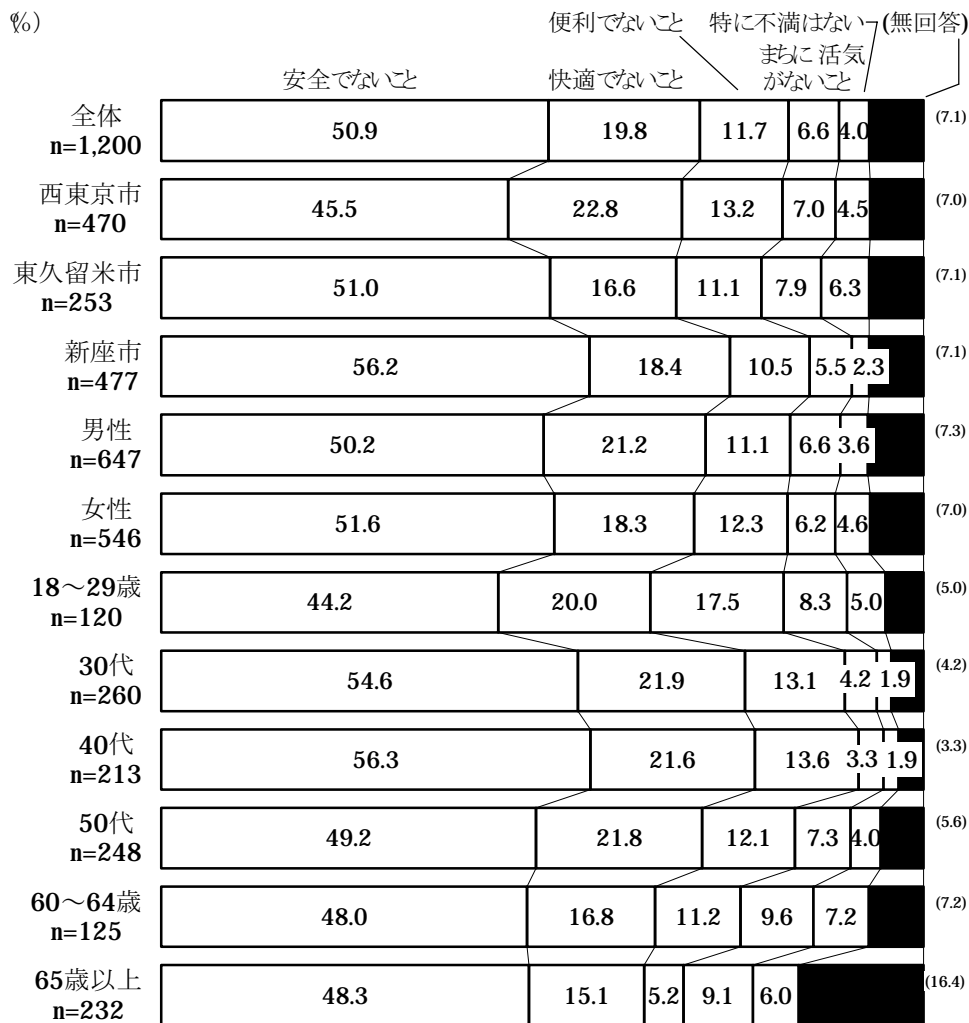
現在のひばりヶ丘駅北口地区の安全性、便利さ、快適さ、にぎわいについて、どのように感じているかを5段階で評価してもらった。

総じて「そうである」「どちらかといえばそうである」と答えた割合が高くなっているが、とくに、「安心して歩ける歩行空間がない」(75.2%)、「まちなみの美しさや雰囲気がない」(75.0%)、「みどりが少ない」(72.9%)、「踏切を利用して南口に行くのは不便である」(71.0%)の4項目で「そうである」と答えた人の割合が7割以上となっている。次いで、「交通事故の危険性が高い」(69.4%)、「駅を利用して南口に行くのは不便である」(67.3%)、「立ち話や、ちょっと休むためのゆとりのスペースがない」(67.0%)、「火災、地震などの災害時が不安である」(66.2%)の4項目が6割強で続いている。

交通事故、災害対応といった安全面の不安、南北の往来の不便性、みどりや余裕空間、まちなみの雰囲気の欠如、といった点でとりわけ評価が低くなっている。

ひばりヶ丘駅北口地区について、半数以上の人「安全でないこと」をもっと不満に感じており、道が狭く未整備にもかかわらず車が歩きづらく、踏切、駅の階段が危険であること、まちが雑然と風紀、雰囲気が悪いこと、などを問題として挙げている。(問16)

図 3.33 ひばりヶ丘駅北口地区のもっと不満に感じていること - 地域別、男女別、年齢別



ひばりヶ丘駅北口地区でもっとも不満に感じていることを聞いたところ、「安全でないこと」と答えた人が50.9%ともっと多く、以下、「快適でないこと」(19.8%)、「便利でないこと」(11.7%)の順となった。

地域別を見ると、「安全でないこと」と答えた人の割合が、新座市でやや高くなっている。

男女別では大きな差は見られないが、年齢別を見ると、18~29歳で「安全でないこと」に代わって「便利でないこと」と答えた人の割合がやや高くなっている。また、40代で「安全でないこと」と答えた人の割合がやや高くなっている。

また、特に問題となる箇所とその内容をコメントとして記入してもらった。指摘された箇所を地域別にマーキングしたのが次ページ以下の図である。

西東京市では、駅前の商店街を中心に、駅東側の踏切（市道ほ307号線、地藏通り）や主要地方道36号保谷志木線など、ひばりヶ丘駅北口地区全般にわたって指摘箇所が指摘されている。東久留米市では、駅西側の踏切からみずほ銀行前にかけての市道ほ301号線や、一番街商店街（市道ほ348号線）に指摘箇所が集中している。新座市では、北口バスターミナル付近（市道ほ315号線）から、みずほ銀行前や駅東側の踏切（市道ほ301号線）まで経路と駅北口に指摘箇所が集中している。

さらに、コメント欄の記入内容からキーワードを整理・分析してみた。

もっとも多くの方が指摘したのが「道の狭さ」で、「歩きづらい、歩くのが危険」「車が多い、危険」など、上位にきたキーワードの半分は道路に関するものであった。「道路が狭く、車が多いので歩いたり、自転車に乗るのが危険」（西東京市栄町一丁目在住、30代女性、家事従事者）、「交通量のわりに道路が狭く危険で安心して自転車に乗ったり歩いたりできない。」（東久留米市浅間町三丁目在住、50代男性、会社員・公務員）、「道が狭いのに車が多く通るので安心して歩けない。」（新座市栗原六丁目在住、30代女性、会社員・公務員）といったコメントが多い。

「踏切が不便、危険」「駅を改善すべき」を指摘した人も多かった。「駅の階段が急で不便。踏切が開かない。」（西東京市ひばりが丘北三丁目在住、60～64歳女性、家事従事者）、「駅階段が急で長く特に雨天の日などすべりやすい。踏切が長い間待たされる。駅周辺の利用が苦痛だ。」（東久留米市浅間町三丁目在住、50代女性、アルバイト・パート）、「駅の階段が急である。踏切待ち」（新座市栗原三丁目在住、65歳以上男性、アルバイト・パート）といったコメントが多い。

また、「まちが雑然としている」「まちの風紀、雰囲気悪さ」ことへの指摘も多かった。「圧迫感がある。客引きなどがいて雰囲気が悪い。」（西東京市栄町一丁目在住、30代女性、家事従事者）、「ごちゃごちゃしている。」（東久留米市浅間町三丁目在住、50代女性、家事従事者）、「北口地区は狭くてがやがやしていて落ち着かない。」（新座市栗原三丁目在住、30代女性、家事従事者）といったコメントが多い。

表 3.34 どこ 問題と思う場所のコメント内容にみられた主なキーワード

道が狭い	-	387名(46.1%)
歩きづらい、歩くのが危険	-	150名(17.9%)
車が多い、危険	-	143名(17.0%)
踏切が不便、危険	-	143名(17.0%)
駅を改善すべき	-	99名(11.8%)
幹線道路が未整備	-	98名(11.7%)
まちが雑然としている	-	90名(10.7%)
歩行者・自転車・車の未分離	-	70名(8.3%)
まちの風紀、雰囲気悪さ	-	67名(8.0%)
歩道・歩行空間がない	-	65名(7.7%)

注) 839名の記入があった。

図 3.35 問題点地図(西東京市の意見)



図 3.36 問題点地図(東久留米市の意見)

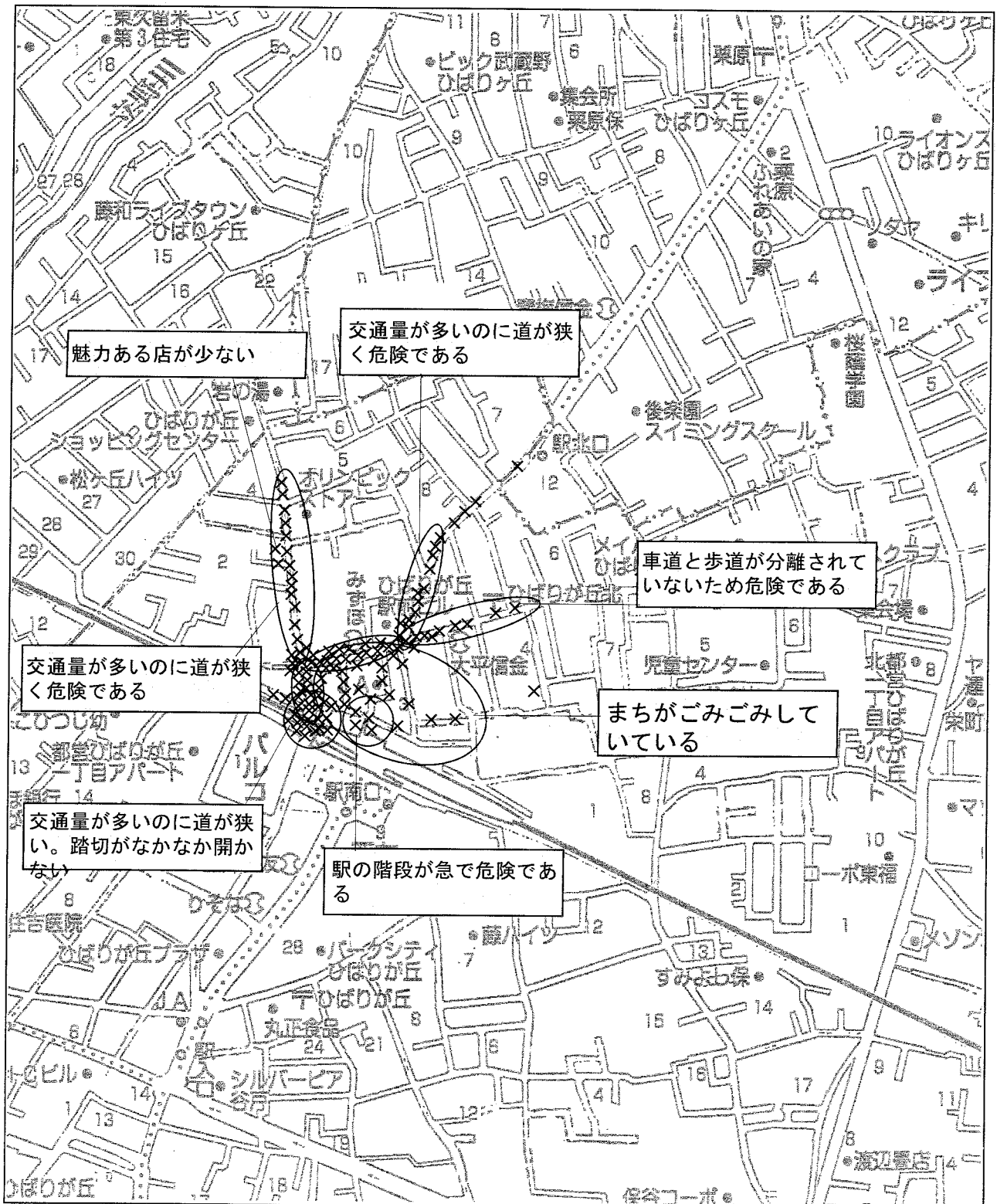


図 3.37 問題点地図(新座市の意見)

